

## 平成29年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市黒埼地区総合体育館（有料） ※プール無し		
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区金巻746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 12,600㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） アリーナ 1,222㎡ トレーニング室 84㎡ 剣道場 278㎡ 柔道場 199㎡		

### 施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

### 管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 25,400人	H29: 28,414人 (前年比110%)	A	昨年度比1割増となった
	基準利用率の達成	・利用率平均50%以上(利用時間数/利用可能時間数) ※体育室・武道場を対象	体育室: 83.1% 武道場: 25.1% (剣: 47.9%、柔: 25.6%、相撲: 1.8%) 合計54.1%	A	昨年度よりも伸ばし、目標達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には7営業日以内に回答	迅速に回答している	B	
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 9,000人以上	H29: 8,685人 (前年比105.6%)	C	目標を下回ったが昨年度より増加。
財 務	使用料収入の達成	・年間使用料収入(免除料金除く)8,000千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	9,418,812円	A	目標を大幅に上回った
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取組の実施件数5件以上	・シフトの効率化を図り超勤削減 ・善久管理体制を見直し人件費削減 ・スライド勤務により人件費削減 ・スタッフができる修繕はできるだけスタッフが行う ・常に省エネを心がけ無駄な電気をつけない	B	
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年3回以上実施	・1/28山田ふれ協フロアカーリング指導 ・9/24西区ふれあいまつり協力 ・1/1黒埼元旦マラソン協力 ・6/17立仏あそぼうさいAED指導 ・10/15西区ウオーク協力 ・10/30笠木小フロアカーリング指導 ・3/1黒埼ふれ協フロアカーリング大会指導 ・2/17黒埼南ふれ協フロアカーリング大会指導 ・10/12.13黒埼中職場体験受け入れ	A	様々な団体と交流を行った、目標を大幅に上回った
	改善勧告等の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応している	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	1/26公社コンプライアンス研修(武江)	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	5/8、2/5消防訓練、救命救急訓練実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	スタッフ全員が普通救命講習Ⅱ修了済	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年6回以上実施	・4/4、10/2トレーニング監視・指導研修 ・5/8接客研修 ・6/23防犯研修 ・7/5ハラスメント研修 ・11/30平等利用研修 ・1/26コンプライアンス研修 ・2/28健康教室指導研修	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守している	B	

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。  
 B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。  
 C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

個人利用者数(トレーニングルーム・ランニングコース・卓球)、スポーツ教室参加者数が増加した。スタッフ一人一人がお客様とのコミュニケーションを大切にしリピーターを獲得していることが一番の要因である。ただし、スポーツ教室の参加者数は評価水準を達成していないので教室計画を見直したい。地元パートタイムスタッフの採用により効率的な管理運営ができた。平成30年4月にはトレーニングルームの拡張とトレーニングマシンの増設を予定している。お客様に喜ばれるサービスを展開し利用者増を図りたい。施設の稼働率が低いので、卓球やバドミントン、フロアカーリングなど個人利用タイムを設定するなど改善していきたい。

所管課による総合評価(所見)

スタッフの窓口・電話対応、ホームページや施設内の張り紙など、随所に親しみやすい雰囲気が見られ、その結果、利用者数の増加にもつながっていると考えられる。27年度の使用料改正を受け、様々な制約がある中、工夫しながらロッカー、会議室フロア、更衣室、シャワー室などを少しずつ改善している。また、手狭なトレーニングルームの拡張工事を行い、マシンや備品が更に充実したほか、リラックスできるストレッチスペースもでき、お客様の評判も上々であると聞いている。  
 今後も引き続きお客様に親しまれる施設づくりを期待すると共に、平日日中の体育館フロアの個人利用者等の有効利用の取り組みに期待している。